

(様式第2)

調書

(記載例)

職種名	電子応用機械器具組立工							
ふりがな 氏名 (雅号等)	ぎのう しゅういち 技能秀一 (技能修)	職歴	在職期間		在職年月数	重複を除く年月数		
生年月日	昭和32年10月10日(○歳)男・女	△△電機株に電気工として就職 ○○電気株○○工場に電子機器組立工として入社 同工場同組立工係長 同工場同組立工課長として現在に至る	年 自昭 51 至昭 53	月 4 3	日 1 31	年 2	月 0	
現住所	〒□□□-□□□□ ○○市○○町○○丁目○号 TEL(0123)45-6789		自昭 53 至平 6	4 3	1 15	16	11.5	○○年 8月
就業事業所名	○○電気株○○工場		自平 6 至平 15	3 3	16 31	9	0.5	
所在地	○○市○○町○○丁目○号 TEL(0123)44-5555		自平 15 至平 30	4 11	1 21	15	8	
勲章・褒章 ※受章歴がある場合、受章年月、種類及び功績概要を記載すること。	表彰 (1) 優秀技能功労者○○市長表彰(平成○年○月) 優秀技能について表彰 (2) ○○県職業能力開発協会会長表彰(平成○年○月) 技能検定の推進貢献について表彰		免許・資格等 技能検定 (1級配電盤組立技能士) (1級制御盤組立技能士) 職業訓練指導員免許(電気科)	免許・資格等名		取得年月 昭和○○年○月 昭和○○年○月 平成○○年○月 令和○年○月		
技能者の概要								
技能の概要	功績・貢献の概要	後進指導育成の概要	現役性					
半導体応用装置の製造に長年従事し培った知識・技能を有しており、特に下記の技能に優れている。 1. シリコンスタック組立技能 ○○用シリコン整流器の製作よりシリコンスタック組立技能がポイントとなる。当人はセレン整流スタック組立ての技能を習練し、その経験と研究の中からシリコン固定加工方法とねじ締め方法によるシリコンスタック組立技能を生み出した。○○に使用されているシリコンスタックはその技能が基礎となっており、現在は幅広く標準化されている。 2. 束線製作技能 トランジスターインバータはノイズに弱く、その機能は束線製作と配線方法で大きく左右される。特に束線製作は配線を行う基礎となることから、シリコン整流器組立ての優れたノウハウをベースに応用と改善を重ねることにより、多機能通用する束線製作技能を生み出した。	1. ○○の安全輸送に寄与 ○○用のシリコン整流器の試作・製作を担当し量産化、標準化を図った。○○用シリコン整流器にもその技能は生かされ、品質と安全確保上の貢献度が高いことより○○から、信頼性の高い製品であるとの評価を得ている。 2. 高速道路トンネルの環境改善に寄与 ○○高速道路○○トンネル集塵器の試作・製品化を担当し、トンネル内自動車排煙集塵機能の向上を図った。また排煙公害を排除し、トンネル内の環境改善及び安全通航を寄与すると共に、周辺の自然環境保全に果たした役割は大きい。 3. 全国道府県への貢献 トランジスターインバータの高い製作技能を生かし○○用○○装置の早期製品化を果たした(全国シェア50%)。また、その技能は○○会社向○○用非常電源の製品化にも生かされ、日常生活における水、電気の安定供給の面においても多大な貢献を果たした。	1. 電気・電子関係の国家検定に実技指導員として活躍し、これまでに100名を合格させ、○○県技能競技大会において1位入賞者10名を輩出した。 2. 技能五輪大会出場者の指導を通じ、工場よりこれまでに20人を全国大会に出場させた。大会では1位入賞5名の成績を獲得すると共に○○年の世界大会でも1位入賞を果たさせる等高い指導能力を發揮した。 3. 技能検定補佐員として○○年にわたり尽力し、○○年から検定委員として、検定(電子機器・配電盤組立て)の運営に貢献し、現在も県技能検定専門委員として活躍している。	本人は係長として、また技術指導員として後進技能者の指導、現場管理に力を尽くしながらも、自ら電子機器組立工として現場の組立作業に日々従事している。 現在従事している業務内容とその内訳は次のとおりである。 就業時間○時間 1. シリコンスタック組立の技能指導(○時間) 2. 新製品の作業方法検討及び組立(○時間) 3. 職業巡視と若年者教育(○時間) 4. 治工具類の考案・製作(○時間)					
推薦団体 又は 推薦者	(所在地又は住所) (名称又は氏名)	過去の推薦回数						
		年度	年度	合計	回			
		TEL(0123)44-5555						
		○○市○○町○○丁目○号 ○○電気株式会社○○工場長○○○○						